



◇実験項目

- ・トランジットモール化 … 交通規制により一般車両を進入禁止、『でんでんむし大通り号』（循環バス）、タクシーのみ通行可(但し走行速度は10km/h以下)
- ・パーキングチケットスペースの活用 … 全38台分の駐車帯をオープンカフェ、駐輪帯として活用

◇調査、分析

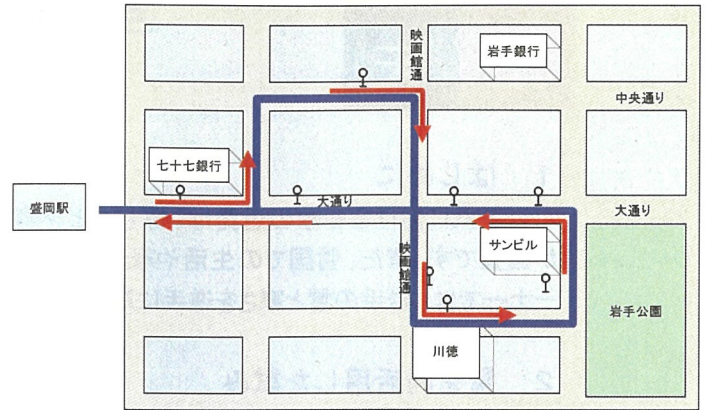
- ・自動車交通量調査(周辺への影響調査)、自転車歩行者通行量調査(集客力、賑わいの創出への影響調査)
- ・来街者、商店街へのアンケート調査

◇その他(一般市民への啓発、共通認識を高める機会の創出)

- ・セミナー(計5回)、フォーラム(2月19日(土)開催)

小型循環バス(でんでんむし大通り号)の経路

運行:午前11時から午後6時まで、20分間隔で運行、1周25分。  
運賃:大人100円 子ども50円



大通りの交通規制:期間中の午前11時から午後6時まで、一般車両の進入禁止。ただし、大通りを横切るのは可。(タクシー、バスは通行可)

4. 実験結果

①復活した歩行空間

今回の実験の最大の成果。来街者、商店主ともに高評価であり、悪天候にもかかわらず歩行者数は増加した。

②循環バスの運行

利用者は目標には届かなかったが、時間、曜日を問わず安定した利用があった。アンケートでも高評価であったことから十分にポテンシャルを持った路線であると考えられる。

③タクシー運行は是か非か?

タクシーの走行速度が速く、危険であるという声が多数寄せられた。

④トランジットモールの理解不足

大通りでは夏季の週末に歩行者天国が実施されているため、歩行者天国と勘違いをして安全を確認せずに道路を横断する姿が多数見受けられた。

⑤周辺部への影響

実験時間中の大通りの一般車両交通量は約1,800台である。実験期間中は周辺部において渋滞が発生したが、天候の影響、荷捌き車両の停車の影響も考えられ、因果関係を明確にするまでには至らなかった。



⑥オープンカフェ

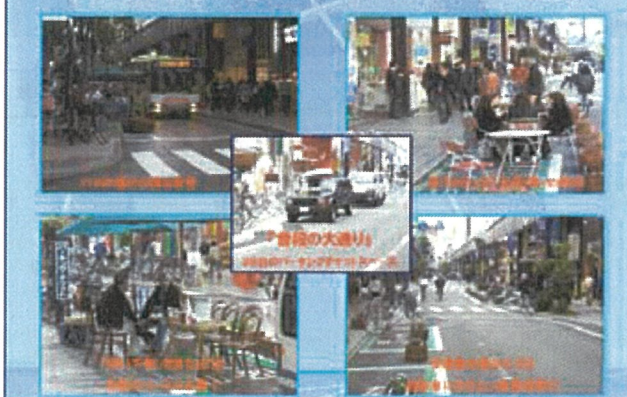
悪天候により当初は来客が少なかったが、日数を重ねることにより売り上げは増加。景観的に良いアクセントになった他に、大通りに不足していた休憩スペースとして、お年寄りが利用する姿も見受けられた。しかし、開催時期に問題があったことは否めない。

⑦車両進入禁止の問題点

来街者と商店主との間で評価が分かれた。(但し、商店主の回収率が15%と低いと単純に比較はできない)恒久的実施においても来街者は支持したが、商店主は曜日限定の実施を支持しているようである。(従来の歩行者天国に循環バスを加えたイメージ)

新聞への投書や商店主の意見では、「自動車が行きかうことも賑わいの一部である」という意見も出されました。また、荷捌き車両への対応も問題点として挙げられました。

トランジットモール&パーキングチケットスペースの活用



5. おわりに

アンケート結果等の社会実験の詳細はホームページにて公表しております。

<http://www.iwate-npo.net/inf21/cinema/cinema.htm>